平成6年(1994年)3月1日　第552号

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243－04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

世帯と人口
(平成6年2月1日)
世　帯　38,429　(＋70)
人　口　111,148人　(＋213)
男 57,376人　女 53,772人

車いすでも乗れます

さがみ野駅にエスカレーター

1月27日から、東柏ケ谷三丁目のさがみ野駅で、「車いす乗用ステップ付きエスカレーター」1基が供用を開始しました。これは、障害者や高齢者の方が今後増加していくことから、外出や社会参加の利便性を向上させるため、相模鉄道㈱が行う整備事業に県、市が助成してできたものです。今回は、新設されたエスカレーターの状況をお知らせします。

今までは……

職員の介助でエスカレーターを下ってきた伊藤さん

駅の利用が便利に

相鉄線さがみ野駅南口階段に、車いすの障害者の方でも利用できる「車いす乗用ステップ付きエスカレーター」が設置され、一月二十七日から供用開始されました。

また、三月下旬には改札口から上り線、下り線ホームへの階段にも設置されます。

このエスカレーターは、通常は一般乗降客の上り専用として利用されますが、車いす使用者が利用する場合には、備え付けのインターホンで駅員に連絡します。駅員が車いす用運転に切り替えると、ステップ三段が平らになり、そこに車いすを乗せて、安全に運びます。

通常は上り専用ですが、車いすの利用時には上り、下りのどちらにも運転できます。

今まで五、六人で電動車いすを運んでいたのが、一人でも可能となりました。

市内を通る鉄道で、車いす使用者の移動ができるエスカレーターやエレベーターの設置状況は、相鉄線では横浜、緑園都市、いずみ中央、いずみ野、上星川、西谷、さがみ野の七駅、小田急線では渋沢、本厚木、小田急相模原、百合ケ丘、新百合ケ丘の五駅、JR相模線では原当麻駅が整備されています。

海老名駅の設置計画は、駅舎の改造時期に合わせて設置するそうですが、実施時期は未定となっています。市では、障害者などの利便性向上のため、早期設置を要望しています。

障害者などの外出を援助

①

②

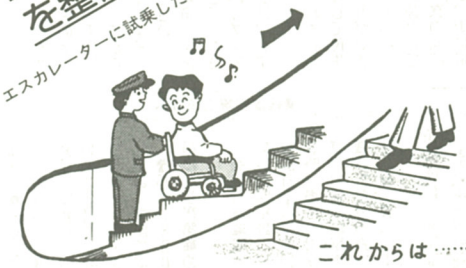
利用は駅員の指示に従って

①エスカレーターの端についているインターホンで、駅員を呼んでください。
②駅員が障害者用の運転に切り替えます。
③ステップへの移動から降りるまでの誘導は、駅員が行いますから指示に従ってください。
また、電車への乗車位置は最後尾の車両で、駅員と車掌が乗せてくれます。

③

すべての駅を整備して！

エスカレーターに試乗した　伊藤　茂さん



これからは……

心身障害者作業施設「あきば作業所」(鈴木治郎所長)まで、電車を利用して通っている伊藤茂さん(中新田在住、21歳)に、エスカレーターに試乗した感想を伺いました。

「生まれたときから身体が不自由ですが、学校で習得したワープロ技術を生かし、あきば作業所に週三日通っています。わかば会館の売店にも週二日行きます。作業所へは、海老名駅からかしわ台駅まで電車を利用していますが、階段で駅員のみなさんにお手伝していただいており、毎回のことで大変申し訳なく思っています。

「エスカレーターは思っていたより安全で、こわくありません。すべての駅に早く設置してもらえるとありがたいですね。

紙パック4月から回収

牛乳などの内側が白色のものを

資源分別回収品目に追加

貴重な地球の森林資源 くり返し利用可能

市では、より一層資源の有効利用を図るため、四月から“紙と布の日”の回収品目に「牛乳などの紙パック」を新たに加えることを決め、回収を始めます。

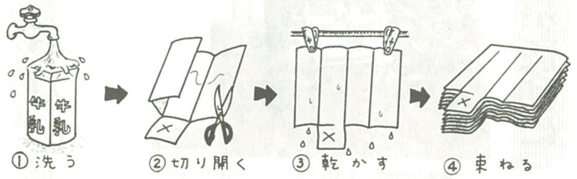
現在、牛乳パックは、主に市民団体のみなさんや販売者の中心であるスーパーなどが回収拠点を設けて回収し、再生原料として製紙メーカーが使用しています。しかし、牛乳パックは特殊なラミネート加工が施されているため、製紙メーカーも限定され、またその再生用途も限られていました。

牛乳パックなどの原料には上質のパルプが使われていますが、その再生品としてはトイレットペーパーが大部分を占めています。従って原料として使われる量に限りがありましたので、受け入れ業者が限られていました。

このため、紙パック類の再生用途の拡大を図ろうと、さまざまな調査、研究がされてきました。

この白いパックで、地球の“資源”を大いに活用しましょう

◆再生できる紙パックは内側が白色のもの(牛乳、ジュース、酒など)。
◆再生できない紙パック内側が銀色の紙が貼ってあるものは、回収できません。



そうした動きの中、このほど製紙業界側で牛乳などの紙パック類を、トイレットペーパーのほかに再生用紙として繰り返し再利用できる体制を整えましたので、市では紙パック類を分別回収品目に追加することにしました。市民のみなさんのご協力をお願いします。

なお、平成三年度から実施している「資源分別回収事業」では、月平均四百十㌧(こ)み収集で約20台分)の資源が回収され、再生資源として有効に活用されています。その結果、一般家庭から出されるごみは大幅に減量しています。

▽問い合わせは、美化衛生課(内54)へ。

1階ロビーに設置

◆市役所内にも回収箱を設置
四月から市役所一階のロビーに牛乳などの紙パックの回収箱を設置します。ご来庁の際にぜひご利用ください。

◆再生商品のご使用を!
せっかく回収した資源も、その再生された商品が使用されなければリサイクルシステムは完成しません。資源として再利用できるものは、ごみとは別に分けて資源回収に出し、再生された商品を積極的に使用していくよう心がけましょう。

雨に濡れないこと

◆紙パックをごみ集積所に出されるときは、別図のような手順でお願いします。貴重な地球の森林資源を私たちの後世に残すため、また、再生資源として有効に活用するためにも、よろしくご協力を。

①飲み終わったら、すぐ水洗いし、②はさみなどで図のように切り開いてください(手で開くことも可能)。③乾かしてから保管してください。④およそ二十枚ほどに束ねて出してください。

“紙と布の日”に新聞、雑誌などと別に束ねて出してください。注ぎ口についているプラスチックなどのキャップは、必ず取り除いてください。

これらのことが守られませんと、かびが発生したりして再生原料として使用することができません。また、牛乳などの紙パックは雨に濡れると資源として利用できませんので、次の回収日に回していただくか、雨に濡れないように中身がわかるビニール袋に入れて出してください。

一定規模以上の開発行為 中高層建築物と建築紛争

開発行為や中高層建築物の建築計画に際して、建築主と近隣関係住民との間で日照阻害や電波障害などをめぐる紛争が生じることもあります。これらの建築紛争の調整と解決を図るため、市では「市開発指導要綱」などの中に定め、紛争の予防と調整を行っています。

【建築紛争とは】 一定規模以上の開発行為や中高層建築物の建築に伴って生ずる日照・通風・採光の阻害、風害、電波障害、プライバシー侵害などや、工事中の騒音・振動・工事車両による交通問題など、周辺の生活環境に影響を及ぼす近隣関係住民と建築主との間の紛争をいいます。

【相談の対象となる建築計画とは】 ①敷地五百平方㍍以上の開発行為とその建築物 ②高さ十㍍以上の中高層建築物(第一種住居専用地域の場合は、軒の高さ7㍍以上)

【市の役割】 建築紛争は、私人間の民事上の問題であり、当事者間の話し合いによる解決が基本です。

市が行う調整は、民事上の和解(当事者間の紛争をお互いの譲歩による約束)の成立に向けて、側面から協力するものです。

相談日 毎月第1・第3水曜日に開設

【相談窓口を開設】 紛争を調整するために、法律、開発行為及び建築物に関して優れた知識と経験を有する第三者の方々による「あっせん」「調整委員会」の調停」と、事前における相談や紛争に至らない内容の相談を受ける窓口も開設しています。

【相談の役割と開設日時】 相談内容から問題となる事項を明らかにし、開発行為や建築関係法令などを説明することにも、紛争の回避方法などを助言します。

毎月第一・第三水曜日の午後一時ー五時(受付は午後四時半まで)を基準に開設します(当日が祝日の場合は、前後の週に変更される場合があります)。

【相談の申し込み方法】 事前申し込み制ですが、当日でも受けられる場合もあります。直接、広報広聴課(内271)へ申し込んでください。

【あっせんとは】 相談を受けていく中で、建築紛争となり当事者双方の話し合いが必要とされ、申し出があれば、あっせん」を行います。一方の申し出でも、市が特に認めた場合の「あっせん」は可能ですが、市が解決案を提示するものではありません。

【調整委員会による調停】 調停は、あっせんが不調になった場合に行われるものですが、原則として双方が調停移行に合意することが必要です。

なお、平成三年度から実施している「資源分別回収事業」では、月平均四百十㌧(こ)み収集

紛争の予防と調整 市では「指導要綱」で相談

情報は広報広聴課へ

市役所　〒243-04 海老市勝瀬175　☎31・2111(代)

情報コーナー

◆リーダー養成講座「応急手当」 市教育委員会が主催します。応急手当の正しい知識と方法を習得し、日常のスポーツ活動に役立ててください▽対象 市内在住・在勤の方▽募集 40人(定員で締め切り)▽日時 3月20日(日)午前9時半ー正午(時間厳守)▽講師 佐々木紀雄氏(日本赤十字社救急法指導員)▽会場 運動公園総合体育館会議室▽服装 実技のできる服装(スカート等は不可)▽申し込み方法 電話(内677)か直接、体育課へ。

◆歯の健康教室 8020・できますか? 今回は「歯の成人病」と呼ばれ、中高年に多くおこる歯周病の予防をテーマに開催します▽日時 3月23日(水)午後1時半ー3時半(受付午後1時半ー1時半)▽会場 保健相談センター▽内容・講師 厚木保健所歯科医師、歯みがきの実習・歯科衛生士▽費用 無料▽定員 40人(先着順)▽持ち物 歯ブラシ・手鏡・タオル▽申しこみ 電話で同センター(☎35・7880)へ。定員になり次第締め切り。

◆駐留軍離職者に対する無料巡回相談 ▽日時 3月24日(木)午前10時ー午後3時▽場所 市役所702会議室▽対象 駐留軍関係を離職された方のみ▽問い合わせ 商工課(内511・512)。

◆春休みプラネタリウム教室 市教育センターが公開します ▽テーマ「春の星空とスペースシャトル」▽期間 3月28日(月)ー4月4日(月)ただし、2日(土)と3日(日)は休み▽場所 市教育センタープラネタリウム室(市図書館4階)▽投影時間 ①午前10時ー11時②午後1時ー3時半。各回とも85人先着順、入場無料。※見学希望者は当日、投影時間より早めに4階ロビーへおいでください▽問い合わせ 同センター(☎33・7771)。

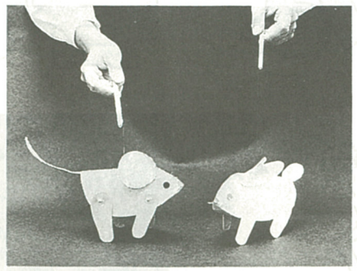
◆平成6年度犬の登録と狂犬病予防注射について 狂犬病予防法に基づき毎年(4月1日ー6月30日)実施しています▽対象 生後91日以上の犬▽登録 動物病院で狂犬病予防注射をした後、保健所に注射済証明書を持って市で実施している狂犬病予防注射と同時に登録を行う方法があります。市では、4月下旬に市内22会場を巡回して狂犬病予防注射と登録を予定しています。詳細は後日、広報でお知らせします。なお、平成5年度に登録した後に亡くなった犬、行方不明などでいなくなった犬の飼い主は、市まで連絡ください▽問い合わせ・連絡先 予防保健課(☎35・7880)。

市役所は一部の業務を除き、すべての土曜日をお休みしています。
お問い合わせは行政管理課(内282)へ

楽しい春休み

春の児童館まつり

▽日時 三月二十八日(月)午前九時受付、九時半ー午後三時半▽場所 市総合福祉会館▽定員 五十人▽内容 あやつり動物の作成、マリオネット劇の上演「金の斧と銀の斧」、腹話術▽持ち物 お弁当、水筒、おてふき(タオル)、はさみ▽申し込み・問い合わせ 社会教育課(内686・687)。



ことしは「あやつり動物」を作りましょう!

春の民芸教室 わらぞうり

昔懐かしい「わらぞうり」を作ります。

▽日時 三月三十日(水)午後一時ー四時▽場所 国分寺台児童館▽定員 三十人▽持ち物 三十㌢四方の布、またはぞうきん(鼻緒に使うので何色でもかまいません)、はさみ、ものさし▽申し込み・問い合わせ 社会教育課(内686・687)。

市長随想

喉元過ぎれば…

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがありました。いにしえのことばに誤りはない、とよくいわれていますが、そのとおりと思います。

二月十二日の朝は、未明からの雪で、辺り一面真っ白でした。二十五年ぶりの大雪だったそうで、驚きました。この日は、不幸ができたために、大和方面へ行かなければならず、JR相模線が不通となって、車を使用しなければならない状況でした。チェーンの用意がしてなかったので、あちこちの店に問い合わせましたが品切れでした。

実は、以前の大雪のときです。雪を甘く見ての帰宅の際、幹線道路では前の自動車の通ったわだちの跡を進んでいきましたが、自宅近くの道にはわだちの跡がなく曲がることができません。仕方なくその雪国の人は、雪への対策も十分しているようです。雪国から出稼ぎにきている人が、新しくスタッドレスタイヤに買い替えて、古いスノータイヤを置いてかれたようで、その古いタイヤに付け替えた近所の方の車で送ってもらうことができ、助かりました。

東海沖地震の防災対策強化地域に指定された当時は、市民のみなさんの意識も高く、非常持出品や防災袋などを準備されましたが、今はどうでしょうか。「喉元過ぎれば…」にならないように「備えあれば憂いなし」です。

海老名市長　左藤　究

第二東名自動車道 都市計画案まとまる

3月1日→15日に 縦覧

第二東名自動車道の都市計画案がまとまりましたので、都市計画法の規定に基づき案の縦覧を次のとおり行います。

なお、都市計画案に意見のある方は縦覧期間中に神奈川県知事あてに意見書の提出ができます。

▽件名 海老名都市計画道路の変更 1・2・1号第二東名自動車道。

▽縦覧期間 三月一日(火)ー三月十五日(火)午前八時半ー午後五時(ただし、閉庁日は除く)。

▽縦覧場所及び意見書の提出先 神奈川県都市計画課(☎246バイパス厚木秦野道路との環境影響予測評価書案縦覧)

神奈川県環境影響評価条例に基づき、第二東名自動車道及び厚木秦野道路(一般国道246号バイパス)の環境影響予測評価書案の縦覧を次のとおり行います。なお、環境影響予測評価書案に意見のある方は神奈川県知事あてに意見書の提出ができます。

▽縦覧期間 三月一日(火)ー三月三十日(水)午前八時半ー午後五時(ただし、閉庁日は除く)。

▽縦覧場所 神奈川県都市計画課・県央地区行政センター環境部及び市生活環境課。

▽意見書の提出先 神奈川県都市部都市計画課(〒231 横浜市中区日本大通1)。

▽提出期限 四月十四日(木)必着。

就学手続き お済みですか?

ことし四月に小・中学校に入学されるお子さんをお持ちの方、就学手続きはお済みになりましたか? 次に該当される方は、手続きをしてください。

①国立・私立小・中学校へ入学される方▽届け出には、国立・私立学校の入学承諾書・印鑑を持参)。

②転入・転居などで入学指定校が変更となる方。

③外国人の方で、就学を希望される方(届け出には、お子さんの外国人登録証明書の写し・印鑑を持参)。

▽手続き及び問い合わせ 学校教育課(内662)まで。

◆就学援助制度のお知らせ
経済的な理由で、お子さんを小・中学校へ就学させるのに困りの方に対して、学用品費や給食費などの必要な費用の一部を援助しています(国の援助基準に基づいて額を決定)。

現在、認定されている方も、給付を受けるには再申請が必要です。申請は通学されている各小・中学校へしてください。

▽問い合わせ 学校教育課(内662)。

平成6年度 奨学生を募集 4月1日から申請書受け付け

市では、平成六年度の奨学生を募集しています。この募集は、経済的理由により学校教育法に規定する高等学校・専修学校・高等専門学校・大学への修学が困難な方に奨学金を給付し、修学を奨励するものです。

なお、この奨学金は篤志家の寄付金などによるものです。

▽申請書提出 四月一日(金)ー八日(金)午前八時半ー正午、午後一時ー五時。

▽受付場所 市指導室。

▽給付資格 市内に居住する青少年で、学業成績良好、性行が善良であること。

▽必要書類 ①奨学金給付申請書(用紙は指導室にあります)②最終出身学校長または在学する学校長の発行する成績証明書 ③保健所長の発行する健康診断書。

※以上の添付書類が必要ですので、早めに申請書を取りにきてください。

給付金額

高等学校	年額九万円以内
専修学校	年額十万円以内
高等専門学校	年額十万円以内
大学	年額二十万円以内

▽問い合わせ 市指導室(内667)。

みんなの伝言板

(このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して◎広報広聴課(内272)へ、スペースの都合で掲載できない場合があります。)

◉ふるさとの花と自然日本画展 ▷日時 3月16日(水)ー21日(月)午前10時ー午後7時▷場所 サティ文化ホール▷主催 高齢者趣味の教室・日本画OB会▷入場料 無料▷連絡先 大貫(☎31・4949)。

◉春季バドミントン大会 ▷日時 3月21日(月)午前9時ー▷場所 海老名総合体育館▷種目 男女別ダブルスA・B・C・壮年、男女シングルスA・B、ジュニアシングルスA(主に中学生)B(小学生)▷参加料 1人1種目。一般1000円、高校生700円、小・中学生500円、協会員大人700円、協会員小・中学生300円▷締め切り 3月13日(金)▷申し込み先 佐藤(☎32・4795)。

◉女声合唱団「コール・エコー」団員募集 ご一緒に歌いませんか!▷日時 毎週水曜日午前10時ー正午▷場所 県立海老名青少年会館2階音楽室▷会費 月額3500円、入会費1000円▷連絡先 荒井(☎32・0043)。

◉パート労働問題相談会 ▷日時 3月12日(土)午前10時ー午後3時▷場所 労働金庫座間支店2階会議室(相鉄線さがみ野駅下車、徒歩5分)▷内容 労働に関する悩みごとを何でも相談▷主催 高座地区労働組合協議会▷問い合わせ 地区労事務局(☎0467・78・1031)。

◉えびなレディコング 男女平等社会の実現に向けて学習会・情報交換を行い、公開講座、ワークショップなど地域に活動を広げていくことを目的にしています。主旨に賛同される方はどなたでも▷日時 第1・第3土曜日午後1時ー3時▷会場 スペース960(中新田960)▷問い合わせ 浅岡(☎33・9016)。

◉ヨーロピアン・クロスステッチクラブ会員募集 岩田ペアーテ先生を囲んで楽しく手芸を習ってみませんか▷日時 月曜日(月2回)午前10時ー正午▷場所 中央公民館など▷会費 月額2000円▷連絡先 田代(☎33・3015)。

◉花供養へのお誘い 釈迦の誕生日に海老名市華道協会では花供養を行います。花一輪をお持ちになって、ぜひご参加ください▷日時 4月8日(金)午前10時ー11時▷場所 中新田・海源寺▷問い合わせ 若杉(☎31・6617)。

◉女性セミナー開催 ▷日時 ①3月17日(木)★さわやかな自己表現の仕方 玉川大学助教授・園田雅代氏②3月18日(金)★自分を知り、仕事を知る ウイメンズ・チャンスセンター主宰 空閑貞子氏(時間は午後2時ー4時)▷会場 プロミティふちのベビルB会議室▷対象 女性労働者及び県民一般20人▷受講料 無料▷保育あり(2歳以上)3月15日(火)までに申し込みのこと▷申し込み方法 電話で申し込んでください▷主催及び申し込み先 神奈川県相模原労働センター(〒229 相模原市鹿沼台1ー9ー15、☎0427・57・2081)。

◉「スポーツ医事・体力相談」のお知らせ ▽日時 4月ー平成7年3月(8月を除く第1土曜日)午前10時ー正午▽会場 県立県央地区体育センター▽対象 県民(運動を始めようと考えている方、運動をしていて不安をお持ちの方など)▽内容 血圧測定、安静時及び心拍数を上げての負荷心電図検査、運動のやり方・その助言、その他運動や体力に関することの相談▽相談料 無料▽申し込み方法 事前に同センター(厚木市温水1329、☎47・7211)に来所するか、電話で、問い合わせも同所。

境影響予測評価書案の説明会を次のとおり開催します。

なお、会場は限られた車両台数しか駐車できませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

▽日時 三月二十二日(火)午後七時ー九時。

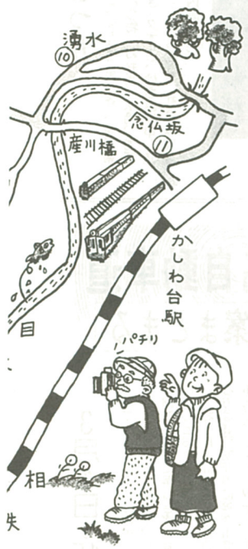
▽場所 門沢橋小学校体育館。

※以上、問い合わせは、神奈川県都市計画課(☎045・1111、内6362ー3)、市都市計画課(内611・612)。

いさな"春の旅"を

いろいろあります市内の史跡

三月二十一日は、春分の日。本格的な春の訪れを控え、日ごとに暖かくなる季節です。外に出て、さわやかな春風を体にうけ、新鮮な空気を吸い込んでみませんか。そこで、今回は、「郷土かるた」や「海老名むかしばなし」を題材にして、相鉄線海老名駅から、かしわ台駅までのハイキングコースを作ってみました。このコースを参考にして、家族や友人同士で春の一日をお過ごしください。



春の散策で気分一新

春風に誘われて、望地の竹林のふもと、カメラを片手に散策しているのは、写真同好会「写楽会（小野田留蔵会長）」の会員たちです。会員たちは、会の名前のとおり楽しみながら撮影を続けています。

みなさんも、この春、市内を散策してみてはいかがですか。

①海老名の大ケヤキ

旧国道二四六号線に面した、国分寺の参道入口にある「海老名の大ケヤキ」は、県指定天然記念物に指定され、周囲八㍍、高さ二十㍍で、樹齢は約八百年です。

この大ケヤキは、その昔、相模湾が深く内陸に入り込み、この辺りが入江になっていたころ、漁師が舟をつなぐために打ったケヤキのくいが根づいて枝を張り、大木になった、と言われています。

樹齢800年の大ケヤキ

②国分寺

大ケヤキの前から、参道を進み石段を上ると国分寺（薬師堂）があります。

この国分寺の本尊は、行基作と伝えられる木造薬師瑠璃光如来像です。境内には、「尼の泣き水伝説」の供養碑があり、鐘楼には、国指定重要文化財の銅鐘があります。

⑦清水寺公園

清水寺公園は、桜の名所として知られ、西に丹沢山系を望む風光明美なところです。

公園にはトリム広場が…

また、公園内の東側斜面にあるトリム広場には遊具施設があり、子供たちの良い遊び場となっています。

桜並木の正面には、市指定重要文化財の仁王門、仁王像があります。仁王門をくぐった奥は観音堂があり、この龍峰寺には国指定重要文化財の千手観音立像が安置されています。

③相模国分寺跡・温故館

相模国分寺は、塔と金堂が併立する法隆寺式伽藍配置の大規模な建築物でした。今では、塔、金堂、講堂の巨大な礎石が比較的良く保存され、国指定史跡に指定されています。

この跡地の一角にある温故館には、相模国分寺の復元模型（実物の100分の1の大きさ）が展示されているほか、市内で出土した石器や土器などがあります。

④伊勢中村橋

伊勢中村橋は、国分南と望地の境の目久尻川に架かる橋で、欄干には河童（かっぱ）の像があり、通称"かっぱ橋"と呼ばれています。

⑤伊勢山自然公園

自然観察や森林浴などが楽しめる、広さ約一・二㌶の自然公園です。

⑥伊勢中村橋

へ進んだある「石橋の碑

逆川の碑

逆川は、大化の改新が行われたころ、条里制によって海老名耕地へのかんがい用と運送用に掘られた川といわれています。この逆川は、全長三・五㌔で目久尻川から水をひいて「史跡逆川」の碑の辺りで北側へ逆流させ、今泉境から海老名耕地に注ぎ出ていた、日本最古の運河と言われています。

また、逆川の碑の横には、江戸中期に大山街道が目久尻川を渡る地点に架けられていた石橋を記念する碑があります。

ぢぢい田

柏ケ谷近くの望地の北西部には、いつて「ぢぢい田」と呼ばれる田んぼがありました。この田んぼには、次のような話が伝えられています。

昔、望地に働き者の鈴木勘兵衛というおじいさんがいました。ある年の秋のことです。おじいさんは、日が沈み辺りが薄暗くなっても、自分の田んぼの稲刈りに励んでいました。

すると、おじいさんの尻をペタペタと叩く者がいます。振り向くとそれは河童（かっぱ）で、おじいさんと目が合うと素早く目久尻川へ姿を消してしまいました。

次の日、おじいさんは、小さな石を詰めた袋を用意して、稲刈りを始めました。やがて日が暮れ始めると、おじいさんは、小石の詰まった袋を尻に結わえて稲を刈り続けました。

そこへ、昨日の河童が、またおじいさんをからかいにやって来て、昨日より強く尻を叩いたからたまりません。その手がしびれ、「痛ててて！ぢぢいの尻は、まるで石だ」と叫ぶと、逃げていってしまいました。――それから、この田んぼは、「ぢぢい田」と呼ばれるようになったそうです。

相鉄沿線で小さな"春の旅"を

巡って実感海老名の歴史

常泉院にある「独鈷の井戸」

⑨独鈷の井戸

常泉院

上今泉の常泉院の鐘楼の近くにある「井戸」には、次のような伝説が伝えられています。

昔、暑い夏の日、汚れた衣をまとい、独鈷（どっこ）と呼ばれる杖を持ったお坊さんが、どこからともなくやって来ました。

このお坊さんは、家々の門に立ってはお経を唱えて歩いたため、のどが乾き、通りがかった一軒家で「どうか水を一杯めぐんでくださいや」とお願いしました。しかし、その家の意地悪なおばあさんに断わられてしまったため、お坊さんは、持っていた杖で地面を突きました。すると、不思議なことに水が噴き出してきました。お坊さんは、その水を両手ですくっておいしそうに飲みました。

その後、その場所からは、絶えることなく、清水がわき出るようになりましたが、意地悪なおばあさんの井戸からは、水が出なくなったそうです。

このお坊さんこそ、あの有名な弘法大師だったのです。そのため、今もその井戸は「独鈷の井戸」または、「弘法様の井戸」と呼ばれています。

⑧秋葉山古墳群

上今泉四丁目と五丁目の境の小高い丘が、秋葉山古墳群です。この古墳群からは、前方後円墳二基、前方後方墳一基、円墳二基、方墳一基の計六基の大型古墳が確認され、県内でも多数の前方後円（方）墳が一カ所に集中している古墳群として知られています。

今では憩いの場の秋葉山古墳群

また、昭和六十三年に行われた発掘調査では、四、五世紀の土師器の壷（つぼ）、埴輪（はにわ）の破片などが古墳から出土しました。

⑩湧水

上今泉六丁目から柏ケ谷中学校に至る市道の山側には、昔から湧水（わきみず）が多いことで知られています。宅地化が進む現在でも、きれいな湧水が道路側溝に流れ出ています。

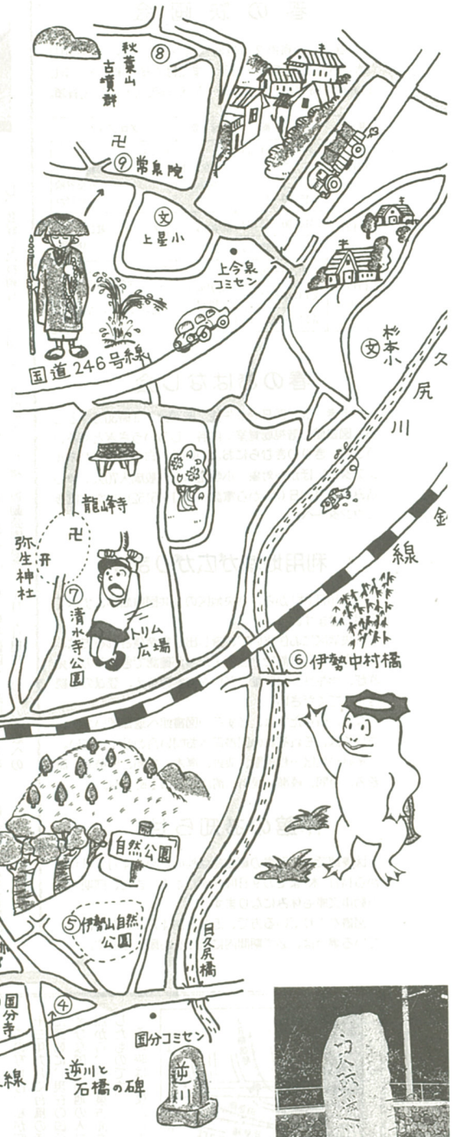
現在でも流れ出る湧水

⑪念仏坂

柏ケ谷自治会館から、かしわ台駅方面に向かう坂道を登るとかしわ台工機所正門に出ますが、かつてはこの構内を六十㍍ほどさらに急な赤土で滑りやすい上り坂が続き、道幅もせまく木々に覆われた寂しい坂がありました。

この辺り一帯は鎌倉時代の古戦場で、この坂から武士の夫人用と思われた櫛笄（くしこうがい）が出土したといわれ、これらのことを知る土地の人々は、戦死した武士たちの霊魂を弔うため、「ナムアミダブツ、ナムアミダブツ」と念仏を唱えながら坂を上り下りしたと伝えられている故事から、この坂が念仏坂と呼ばれるようになったそうです。

現在の坂の下り口には、坂名とその由来を刻んだ標識が設置されています。



温故館から約250㍍東県道横浜厚木線沿いに川の碑（写真左）」と（写真右）」

田の草仁王

国分北の龍峰寺仁王門に安置されている、市指定重要文化財の仁王像には、次のような伝説が伝えられています。

昔、この地に、たいそう意地の悪いおばあさんが住んでいました。おばあさんには、娘が一人いましたが実の子ではありませんでした。

ある日のこと、おばあさんは娘に、「今日は田んぼの草取りをしてきな。全部終わるまでは帰ってくるでないよ」と、きつくいいつけました。

それでも娘は、一言も文句を言わず、「はい」と答えて田んぼに行きました。

娘は、休むことなく草取りに励みました。夜中までかかると思われた作業も、苦労のかいあって、日が暮れるころには、すっかり終わってしまいました。

草取りが早く終わったので、娘はいつもお参りしている清水寺（現龍峰寺）の仁王様に寄って行くことにしました。

娘は、仁王様に手を合わせ、心を込めて拝みました。そして、ひょいと仁王様を見上げると、なんと仁王様の足がどろんこではありませんか。田の草とりが思ったより早く片づいたのは、仁王様の手助けがあったからなのでした。

それからは、仁王様を「田の草仁王」と呼ぶようになった、ということです。

あなたの才能を生かして

高齢者の生きいき人材登録制度が発足

市では、今月から、高齢者生きいき人材登録制度を発足し、登録者の募集を行っています。

高齢者の方のなかには、長年の経験や趣味から得た技術、技能や知識を持っているにもかかわらず、発表したり、活用することなく日々を過ごしている方が多くいるのではないでしょうか。

この高齢者生きいき人材登録制度は、そうした技術などを、登録者名簿」に登録し、発表や活用する機会を設けるとともに、活動状況に応じて、市が登録者に奨励金を支給して、高齢者の健康と生きがいづくりの一助にしようとするものです。

◎登録の受け付け…高齢者福祉課で四月十五日（金）まで。

◎登録できる方…市内に居住する満六十歳以上の方で、一定レベル以上の技術などを持ち、生涯学習の実践者として見識を持っている方。

◎登録する技術などの内容…学問、芸術、文化の伝承、外国語、スポーツ、伝統技術、趣味など。

◎登録の方法…登録申請書により申請。市は、これを登録者審査会に諮って登録の可否を決定し、申請者に通知します。

◎登録期間…一年間で、毎年更新。

◎登録者名簿…名簿を作成し、市民がいつでも閲覧ができ、活用しやすいように市内の公共施設などに置きます。

◎自主活動…登録者は、自らの責任においてグループを組織し、登録した技術などを活用して、研究会などの自主活動ができます。ただし、グループは五人以上で構成、公共施設及び公共的施設で活動しなければなりません。

◎登録者の活用…高齢者福祉課が仲立ちとなって、登録者の紹介を行います。自主講座や勉強会に講師が必要な場合、同課にある申込書により紹介してもらうことができます。

◎人材登録奨励金…登録者が自主活動をしたり、紹介によって活用された場合には、その活動状況によって、登録者一人につき年間十二万円（月一万円）を限度に、月単位で、奨励金が支給されます。

◎登録者の義務…登録されている立場を利用しての政治、宗教活動及び営利行為は禁止します。また、活動状況を記録するため、所定の活動日誌をつけていただきます。

◎登録する技術、技能、知識などの具体例…歌の好きな者同士の集まりで、カラオケの指導をしている。絵画が得意なので、好きな人を集めて教えたい。大工であったことを生かして、日曜大工教室を開きたい。しめ縄飾りを作ることができるので、みんなに教えたい。古典文学の読み方、解釈を面白おかしく講義することができる……など。

※問い合わせは、高齢者福祉課（内⑥⑩）へ。

古き良き伝統を若い世代に伝えて！（民芸教室から）

図書館から

「説話文学の世界」展

▷展示期間　4月5日(火)まで（毎週月曜日と3月1・22・31日は休館日）。時間は午前9時～午後4時50分▷展示場所　図書館2階展示コーナー▷展示内容　説話文学の影印本、「宇治拾遺物語絵巻」（写真本）など。

春の映画会

▷会場　図書館2階視聴覚室▷申し込み　3月10日(水)から電話（☎31・5152）または直接図書館へ。申し込み受付時間は、午前9時～午後4時50分まで、先着順。

月日	時間	対象	プログラム
3月26日(土)	①10:30～11:40 ②13:30～14:40 ③15:00～16:10	小学生以上60人	アニメ ・ズッコケ三人組 時空冒険 (57分)
3月27日(日)	①10:00～11:30 ②13:30～15:00	中学生以上60人	・禁じられた遊び (86分)
3月29日(水)	①10:00～10:30 ②13:30～14:00 ③14:30～15:00	幼児向き100人	アニメ ・ミッキーマウスと魔法の帽子 (10分) ・花いっぱいになれ (12分)

春のおはなし会

▷とき　3月25日(金)午後2時30分～3時30分▷ところ　図書館2階視聴覚室▷内容　しろいうさぎとくろいうさぎ、きりのきむらにおよめいり、白樺の精（パネルシアター）ほか▷対象　小学生以上一般成人70人▷申し込み　3月10日(木)から電話（☎31・5152）または直接カウンターへ。

利用地域が広がります

3月10日(木)から、県央地区の公共図書館が、すべて利用できます。

県央地区にお住まいで、貸し出しを希望される方は、利用される図書館で、住所・氏名が確認できるもの（免許証、学生証、保険証など）を持参のうえ、登録の手続きをしてください。

なお、借りた本は、必ずその図書館へ返却願います。詳しくは、それぞれの図書館へお問い合わせください。

※県央地区…相模原、秦野、厚木、大和、伊勢原、海老名、座間、綾瀬、愛川、清川の8市1町1村。

休館のお知らせ

図書館では、図書の蔵書総点検のため、4月6日(水)から14日(木)までの9日間休館します。また、同期間、自動車文庫も休みになります。

図書を借りている方で、返却日が4月5日以前になっている場合は、必ず期間内に返却をお願いします。

第5回オープン卓球大会を開催

市卓球協会では、第五回海老名市オープン卓球大会を次のとおり開催します。

▽日時　四月十日（日）午前九時から▽会場　運動公園総合体育館▽種目　男女シングルス（男子は壮年46歳以上と一般、女子はクラス別A・B）。ただし、男子は四十六歳以上（6年4月1日現在）の方の一般への参加も可。女子は各種大会で八位以内に入賞した方をAクラスとします▽参加資格　特に制限なし（市外在住の方も可）▽参加料　五百円▽表彰　男女とも四位まで（男子一般と女子Aは8位まで）▽申し込み　参加料を添え、住所・氏名・電話番号・出場種目・所属名・性別を明記し、谷川浩（国分寺台4－2－19、☎31・4522）か、蛭田暁子（国分南1－2－16－107、☎32・6513）へ。三月三十一日（木）必着▽注意事項　選手は必ずゼッケン着用のこと。

2月の価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1ℓ	282（2）	293	295（0）	293
みそ	袋入1kg	342（▲32）	398	372（41）	398
砂糖	白1kg	236（1）	238	246（9）	238
マーガリン	パック225g	210（25）	198	196（▲2）	198
サラダ油	ボリ700g	350（▲14）	—	368（▲7）	—
マヨネーズ	ボリ500g	292（▲33）	—	338（18）	348
小麦粉	薄力粉1kg	184（▲8）	—	206（11）	—
牛乳	パック1ℓ	193（▲6）	198	211（8）	198
鶏卵	M10個入	164（1）	—	171（10）	158
豚肉	もも肉100g	138（▲30）	118	151（4）	—
無リン合成洗剤	箱入1.5kg	654（▲67）	830	759（34）	—
粉石鹸	袋入3kg	768（▲10）	798	716（116）	—
灯油	配達18ℓ	——	—	918（▲11）	900

＊価格は、海老名市消費生活モニター30人の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比で▲印は、安。

海老名タイムトンネル　写真が語る郷土の歴史

一晩で田んぼが湖に

このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介します。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は、市史編さん室（内291）へご連絡を。

えびな国分団地付近

この写真は、私が昭和二十三年九月に台風の通過した翌朝に、現在の国分北のえびな国分団地の入口交差点から、下今泉方面を撮影したものです。

この時は、夜から大雨になり、交差点からJR相模線までの間の田んぼが湖になったようでした。

当時は、大雨のたびに用水の水があふれ、小学生もひざまでズボンをまくって小学校へ通う姿が見られました。また、JR相模線の踏切には、遮断機もなく、一面に田んぼが広がって大山がはっきり見えました。

今では、道路や用水路も整備されて、工場や住宅も増え、当時は今のように開発が進むとは思いもよらなかったです。

（国分寺台の伊波昇さんからのお話を伺いました）

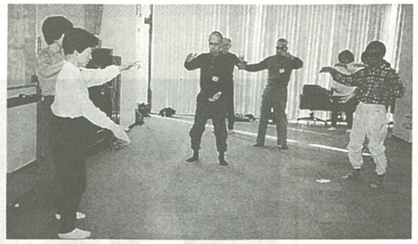
現在の交差点付近（写真上）と昭和23年（写真右、国分寺台の伊波昇氏所蔵）

6日間楽しく学ぶ

心身ともにリラックス

健康教室で「気功」を学ぶ

ジョギング、テニス、ジャズダンス…こうした各種スポーツを通して、私たちの健康に対する意識は年々高まってきています。第三期公民館講座でも、このかけがえのない健康を維持するため、三十人の受講生が、中国古来の健康法である「気功」を、一月十九日から全六回の予定で学んでいます。


ゆったりとした気功の動作を続けると時間の流れもゆるやかに

「気功の『気』とは、誰もが持っているエネルギーの総称。この『気』を養い体内にめぐらせることで、心身の健康を得ることができます」

と、講師を務める日本気功科学研究所の持田美智子さんは話されましたが、その言葉を裏付けるように、気功の鍛練を積んだ持田さんの背すじはピンと伸び、とても六十代とは思えない若々しい容姿をされています。

初回、気功の基本である腹式呼吸の練習を済ませた受講生は、次に、精神を集中し、呼吸に合わせて静かに腕を動かす「站桩功（たんとうこう）」を行いました。この站桩功には体内の気を養う働きがあるそうです。そのほかにも、ストレス解消に役立つ「重気法」や「順気法」も学び、この回は終了。

二回目には、「行歩法」の実践を行いました。行歩法とは、まるで水中を歩くように、ゆっくりと、しかも、体を上下させないで静かに前に歩くもので、見ていると、全員の動作が実にゆるやかなため、時間の進み方が違う別世界に入り込んだような気さえしてきます。

「難かしいけれど、とても心が落ちつきますね」あっという間に時間がたってしまったのにはびっくり！」

と、中国三千年の『効力』に、受講生も驚いた様子でした。

多数の人が精神を集中させれば、同じ部屋にいるだけで「気」をもらうことができる――ということもあって、毎回欠席者も少ないようです。

無理のない動きで健康が得られる気功を、一日も早く修得しようと、鍛練に励む受講者の姿が、とても印象的でした。

公民館だより

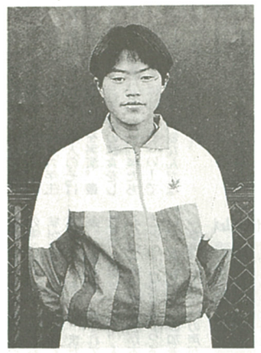
上鄕476－2　☎32・3231

今月のプロフィル

今はテニスに夢中！

ウィンブルドン目指し 練習に励む小学6年生

宇田（うだ）　怜未（れみ）さん



「将来の夢は、ウィンブルドンのセンターコートに立つことです」と、まだあどけない顔がキリッと引き締まる。

宇田怜未さん（中河内、12歳）は、まだ有馬小学校の六年生だが、身長百六十五㌢と恵まれている。テニスを始めたのは四歳のころ、当時は手に合わせた小さいラケットで「遊びみたいなもの」だった。

小学校一年から藤沢市にあるテニスクラブへ練習に通うようになり、小学校五年生から選手養成クラスに移った。

そこでの練習は、週三日。学校が終わってから、平日三時間、土曜日には四時間半をランニング、フットワーク、練習試合などで技術を磨く。クラブに行かない日には、八年前に自宅で両親が始めたテニスクラブで練習している。

去年七月に行われた全国小学生テニス大会は、本選では負けてしまったが、敗者復活戦では優勝するという快挙を。さらに翌八月に行われた関東ジュニアサーキット十二歳以下の部でも優勝を飾った。

こうした実績から県のランキングでも十四歳以下の部で三位に位置し、二位の人にも今年一月の大会で勝っている。

去年十二月には、初めての海外遠征で三週間、オーストラリアのシドニーに仲間五人と行った。現地では、テニスのコーチ宅にホームスティし、コートやプールもある豪邸にびっくり。「英会話は六歳のころから習っているので、日常会話程度は通じます」と。

現地では、練習に加え二試合を行ったが両方とも二回戦で敗退。相手は州で二位、三位の強豪だった。「ジャッジに言いたい英語が出ず、抗議もできなかったのがくやしい」と反省も含め、良い刺激を得てきた。

「先日行われた全豪オープンでベスト4に残った伊達公子さんの練習をクラブで見ますが『すごい』の一言です。いろんなショットが打てるし、リターンも勉強になります」と目を輝かす。

これから一歩ずつ階段を登り、世界の頂点に立つことを夢見ている少女がまぶしい！

こうしたテニスに夢中！

プレイ・ガイド

ウィーン少年合唱団

5月22日(日)　市文化会館で

日本に多くのファンをもつオーストリアからの音楽の使者、ウィーン少年合唱団が来日！ "天使のうたごえ。をぜひ、お聴きください。

▷日時　5月22日（日）午後2時～午後4時15分▷会場　市文化会館（☎32・3231）▷入場料　A席4000円、B席3500円（全席指定、4歳以下は入場できません）▷前売開始　3月13日（日）午前9時から、電話予約は午後1時から▷主催　市・市文化会館事業協会。

出来栄えは上々

版画制作に25人が挑戦

一月十六日から全六回にわたって行われた第三期公民館講座「趣味の教室」では、今泉中学校教諭の大槻幸広さんを講師に迎え、三十代から六十代の受講生二十五人が、多色刷りの版画に挑戦しました。

初回、大槻さんから制作工程などの説明を聞いた後、いよいよ絵の制作を…。受講生は、窓から見える丹沢山系の山々を描いたり、本から五重の塔を写し描いたりと、題材はさまざまでしたが、

「下絵の線は太く、細く、大まかで結構です」

という大槻さんの言葉に、写実的な絵が描けなかった受講生も、ひと安心。

大槻さんが添削指導をするときには質問が続出したり、また、受講生同士でも意見交換をするなど、教室内は以前からの友人が集まったような明るい雰囲気と、活気に満ちていました。

大槻さん（左端）の添削を真剣に見守る受講生たち

三回目には、版木彫りをいよいよ始まりました。版木刀を使い、版木を彫り始めた受講生からは話し声も途絶え、黙々と作業を続けるその姿は真剣そのもの。やがて、絵柄の輪郭線だけを彫り残した「主版」が完成しました。

この主版を紙に刷ると輪郭線だけの絵が浮き出てきます。

「後でこの紙に色を刷るとき、各色がずれないよう、カギ見当（紙を合わせるときの目印）を忘れずに…」

という大槻さんの注意を守り、受講生は色刷り用の二版、三版目の木版彫りを開始。彫り終えたそれらの版にそれぞれ違う色を塗り、最後に主版刷りした輪郭線だけの紙を二版、三版に重ね刷りして、ついに多色刷り版画が完成しました。

どの作品も受講生が期待した以上の出来栄えで、

「これだったら、孫にも自慢できます」

という感想が聞かれるなど、手間はかかっても作りがいのある六日間だったようです。

お知らせ

平成6年10月10日から…
…平成7年1月31日まで

しばらく休館します

文化会館・中央公民館

今年1月から、市の文化行政の拠点施設として「小ホール」の建設が始まりました。この建設工事に伴い、市文化会館・中央公民館が休館になります。

▷休館期間　平成6年10月10日～7年1月31日

※受付事務・チケット販売などは通常どおり行います。なお、小ホール建設のため、文化会館・中央公民館の駐車場は今年1月から使用できませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

フォトピックス

石臼挽きを体験

上星小6年生がそば作り

初めての石臼挽きに興味津々

ソバを石臼（いしうす）で挽（ひ）き、そば打ちを見学する〝体験学習〟が、二月十五日、上星小学校（青木三昭校長、児童673人）で行われた。

同校では去年九月、理科実習の一環として、海老名市そば商組合（坂本正栄組合長、23店）から「そば」の種を分けてもらい、六年生百三十三人が校庭で栽培し、実を収穫している。

当日は、収穫した実を六年生が石臼で粉にして、六人のそば商組合員がそば打ちを実演。最後に全員でもりそばの試食をしたが、児童たちからは、「僕たちが育てたそばはおいしい！でも、石臼挽きって大変なんだなあ」という声が聞けた。

〝生き方〟考える

市役所で女性講演会

「生き方　フリースタイル」をテーマにした「女性講演会」が、NHKアナウンサーの山根基世さんを講師に迎えて、二月六日、市役所会議室で行われた。

講演の中で、山根さんは、取材中知り合った〝働く女性たち〟の実例を紹介するとともに、職域が広がって元気に働く女性が増加している反面、まだ〝男社会〟の弊害が一掃されていないこと。仕事以外にも、人生には心の通った人間関係が不可欠なこと――などを流ちょうに話し、二百五十人の参加者からは「参考になった」の声が。

講師　NHK　山根

〝働く女性〟を語る山根さん

出来栄えに感動

子ども文化活動発表会

「ピーターパンの冒険」を演じた子ども会も…

二月六日、市文化会館で行われた「子ども文化活動発表会」では、市内各地区の子ども会会員約三百人が、それぞれの地元で練習を重ねてきた演劇、合奏、影絵、神奈川健康体操などを披露した。

市と海老名市子ども会育成会連絡協議会（渋谷邦夫協議会長）共催の同発表会は、子ども会相互の親ぼくと文化意識の向上を目的に、十三年前から続けられている。

当日は、色とりどりの照明を駆使した影絵や趣向を凝らした創作劇など、目を見張るステージが続き、「僕らも上手に発表できたけど、ほかの地区の人たちのも良かった！」と、参加者は互いの出来栄えに感動していた。

30万人を突破！

柏ケ谷コミセン利用者

一月十九日、柏ケ谷コミュニティセンターの利用者が三十万人を超え、三十万人目の来館者になった五ノ井莉奈ちゃん（2、6歳）には、二月五日、同センターで管理運営委員会（田野口勝委員長）から、記念の写真アルバムと図書券が贈られた。

莉奈ちゃんは絵本が大好きで、以前から同センター内の保育室にある絵本をみるため来館していたが、十九日も絵本目当てに訪れたところ、ラッキーな三十万人目に。

図書券は、お母さんの了解を得て、好きな本を購入するそうで、「記念品をもらったときは、ちょっと恥ずかしかったけど、すごくうれしい」と感想を話していた。

記念品を受け取る莉奈ちゃん（左）

海老名むかしむかし

☎33・3838（みんわみんわ）

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

2月18日～3月14日　第150話　ちぢい田

3月15日～4月4日　第151話　海老名の名工　萬大工

海老名むかしばなし

第321話　永享の乱と海老名氏

永享の乱とは、室町時代中期の永享十年（一四三八年）八月から翌年二月にかけて、鎌倉公方足利持氏方と京都の将軍足利義教方との間でおきた紛争のことである。

足利尊氏は、関東八カ国と甲斐（山梨県）、伊豆二国を支配させるために鎌倉府を設置した。鎌倉公方はその長官である。

四代目鎌倉公方の足利持氏は、かねてより将軍に対抗する姿勢を示していたが、それを諫める鎌倉公方の補佐役、関東管領の上杉憲実を討とうとした。

上杉憲実は鎌倉を退去し、上野国（群馬県）白井城に立てこもり、将軍義教に援軍を求めた。

永享十年八月十六日、鎌倉をたった持氏は武蔵国の高安寺に本陣を設け、配下の一色直兼、時家などの軍勢を上野国に差し向けた。

九月十日、幕府軍は箱根と足柄に押し寄せてきた。持氏方は箱根での戦いでは勝利したが、足柄の戦いでは敗れ、結局、幕府軍に相模国西部（足柄上郡・下郡、小田原市など）まで攻め寄せられてしまった。

この戦況を聞いた持氏は、上杉憲直を大将として、海老名上野介季長などや、安房国（千葉県）の軍勢を相模国西部に差し向けた。

九月二十七日、早川尻（足柄下郡）で激戦が行われたが、持氏方は敗北してしまった。

その二日後の二十九日、持氏は本陣を武蔵国の高安寺から、海老名道場へ移した。海老名道場は、市内河原口の総持院や宗珪寺付近にあった宝樹寺のことと考えられている。海老名氏宗家の館も、この近くにあった。

上野国白井城にいた上杉憲実が、軍勢を率いて鎌倉街道沿いの分陪河原（東京都府中市）に到達すると、持氏の家来の多くは持氏を捨てて憲実方についてしまった。「相州兵乱記」には「宗徒（主だった）ノ御一門、譜代旧功ノ御勢ヨリ外ニ残リ留ル人モナシ」と記されている。

持氏の留守を預かり、鎌倉の警衛に当たっていた三浦介時高も寝返り、十一月一日、鎌倉公方の御所に火を放った。

戦いをあきらめた持氏は、翌二日、一カ月余り在陣していた海老名道場から鎌倉へ戻る途中で、上杉憲実軍の先鋒と出会うが、すでに戦意はなく、上杉軍に警固されて鎌倉の永安寺へ入った。

同月四日に、持氏は金沢（横浜市）の称名寺に移り、翌日、髪を下ろした。十一日に再び鎌倉の永安寺に移り、厳重に警固された。

このころ、最後まで持氏に従った主だった家来たちは、討ち死に、または自害していた。海老名尾張守入道（名は不明）は、六浦（横浜市）の奥方や数十人の待女は焼け死んでしまった。

持氏の十歳になる長子義久は、鎌倉の報国寺で謹慎していたが、命が助からないことを知り同月二十八日に自害した。近習の者三十余人も義久の後を追った。「永享記」には義久の見事な最期を、

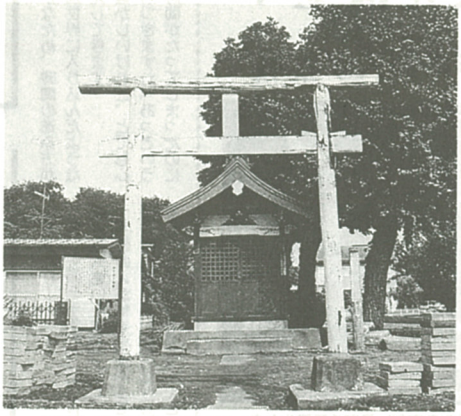
「梢（こずえ）の花は二葉より香は（ば）しとは是等之事をや申へ（べ）き　天晴武門の棟梁ともならせ給ふへ（べ）き御器と惜まぬ人こそなかりけれ」

と記されている。

永享の乱の後も当地での海老名氏の活動は見られるが、十五世紀中頃で消滅してしまった。

海老名季明や氏貞は初代鎌倉公方足利基氏（足利尊氏の子）の近習であったし、海老名備中守は鎌倉府の評定衆の一員であり、海老名氏は鎌倉公方の重臣であった。

（細川　光成）


河原口の総持院や宗珪寺近くにある海老名氏の霊堂

郷土の昔話を知りたいあなたに…

「海老名むかしばなし」

第1～6集有料配布中

1～3集は5百円、4・5集は6百円、6集は7百円

市役所地階の売店で販売中